

「鉄道を支える仕事」

指導目標	<p>◎自分たちの住むまちには、いろいろな人が一緒に暮らし、人々の移動を支える鉄道のために多くの人働いていることを知っている。</p> <p>◎地域の人々を支える鉄道に対して、自分にできることを考える。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>鉄道を支える仕事を通じて、鉄道が地域にとって重要な公共交通であることを実感し、鉄道を守っていくために自分にできることを考える。鉄道と自家用車の違いから、交通と環境との関わりを学ぶことができる。</p>
対象学年	4・5年生
対応教科	社会科、総合的な学習の時間
標準校時	2コマ
学習構成	<p>1. 地域とかかわりのある鉄道</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の鉄道とまちの発展の経緯を示し、地域と鉄道のかかわりを認識する。 <p>2. 地域にとって重要な鉄道</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの発展を支えた鉄道の重要性を認識し、いろいろな人や努力で支えられていることを知る。 <p>3. 鉄道を支える仕事 ※鉄道事業者との連携</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画等を用いて、鉄道を支えるために多くの人働いていること（建設、メンテナンス、駅の運営、運輸等各パート等）を知り、地域との関わりを学ぶ。 ・安全に鉄道に乗るために気をつけることや工夫されていることを知る。 <p>4. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は多くの人に支えられていることや鉄道の環境に対するやさしさを認識し、地域で鉄道をうまく利用していくために自分たちにできることを考える。 ・鉄道に乗るときのマナーを確認し、気配りの意識を持つ。